

【「信用保証依頼書」へのプロパー融資状況の記載例】

信用保証依頼書

群馬県信用保証協会 行 平成 西暦 年 月 日

本申込について、審査の結果、貸付を適当と認めますので、保証制度要綱および同事務取扱要領を遵守のうえ信用保証を依頼します。

金融機関本・支店名		金融機関コード		事前相談受付番号	
代表者名		電話番号 () -		代理貸	
		FAX番号 () -			
		E-mail			
		パスワード			
申込 人	協会顧客番号	担当部署・担当者		責任共有 1 無	
	フリガナ	不在時連絡者		対 象 2 有 (保証対象)	
		保証制度(略称)			
貸 付	貸付金額	1 個別	貸付予定日	年 月 日	
	2 極度	円	期間または期日	か月、または 年 月 日	
資 金 使 途	1 運転	2 設備	3 運転・設備	貸付利率	1 固定 2 変動 年 %以内
	貸付形式			1 証書 2 手形 3 手形割引 4 公正証書 5 当貸(貸付専用型) 6 当貸(カードローン型) 7 電子記録債権割引	
返 済 条 件	区分	1 一括	2 元金均等	3 元利均等(ローン)	4 不均等
	返済方法	か月日から	か月日まで	か月毎	円
		か月日まで	か月毎	円	初回・最終回 円
		年 月 日から	か月毎	日に	円あて 回返済 初回・最終回 円
		(不均等)			
内 容 等	この貸付で完済する保証がある場合		保証番号		
	割引残高有無		1 無	2 有	※割引根保証を更新する場合は、ご記入ください。
	保証料返戻預金口座		種類	1 当座	2 普通
	連帯保証人		保証人等明細に記入のとおりとします。		
担保有無		1 無	2 有	担保種類	1 不動産 2 有価証券 3 高手 4 売債 5 その他(
設定区分		1 協会	2 金融機関	担保流用区分	1 新規 2 既存(同条件) 3 既存(変更)
※新規設定の場合は、必ず「不動産登記簿謄本」等の資料を添付してください。既存(変更)の場合は、以下に内容等をご記入願います。なお、担保番号や保証番号が分かる場合にはご記入願います。					

当 店	年 月 日	現在の残高(取引開始)	預金	年 月 / 融資	年 月			
	当 座	千円	区 分	プロパー	保証協会付	保全状況	取引振	
取 引 状 況	預 金	千円	融 貸 付	千円	千円	不動産	千円	1 債
	定期性	千円	割 引	千円	千円	預 金	千円	2 普
	その他	千円	融 貸 付	千円	千円	その他	千円	3 普
	合 計	千円	合 計	千円	千円	合 計	千円	4 新 規

申 込 人 状 況	申込人(代表者)の事業経験・業界知識			金 融 機 関 関 係 所 見	
	1 十分ある	2 普通	3 やや不足している		
	事業の円滑性			※最近の業績、返済能力、経営者の入換、取組方針等	
	1 有	2 やや有	3 横違い	4 下落・後退	
	申込人(代表者)の計数観念(決算・業績把握度)				
	1 十分に有	2 普通	3 やや不足している		
	立地条件(商業・サービス業)、取引先状況(製造業等)				
	1 良好	2 普通	3 不良		
	前半年の返済			1 発生していない	2 発生した(千円)
	(相手先)				

原則として、信用保証依頼書記載日とします。ただし、金融機関の事務手続き(システム管理面を含む)等においてやむを得ず差異が生じる等、合理的な理由がある場合には、その限りではありません。取引開始欄の記載をお願いします。

プロパーの「その他」の欄には、貸付・割引以外の与信取引の記載をお願いします。(債務保証、外為関係、デリバティブ関係、社債引受等)

「預金状況、保全状況」は公表の対象となりませんが、保証審査で取引状況を把握する上での情報として活用しておりますので記載してください。

千円未満の端数は、金融機関における端数処理に準じて記載してください。

「負担金方式」「部分保証方式」ともに融資全体を信用保証付融資として記載してください。

個人事業主については、原則として事業性融資を記載してください。ただし、自宅兼店舗に係る住宅ローン等、明確な仕分けができないものは、プロパー融資に記載してください。

極度額設定の貸付(当座貸越等)の場合は、実際の利用残高がなくても極度額を記載してください。

他の保証協会利用がある場合は、保証協会付融資の欄に記載してください。他機関の保証がついている債権については、プロパー融資の欄に記載してください。

※信用保証依頼書(当店取引状況)記載に関する照会回答事例集(金融機関限り)をご確認ください。条件変更依頼書、事故報告書、代位弁済請求書等についても同様に記載ください。